

第2回仙台市情報モラル教育推進会議を開催しました

平成29年度情報モラル教育に係る本市の取組

第1回情報モラル教育推進会議での提言を踏まえ、以下の取組を進めています。

- 1 家庭における推進検討部会（家庭部会）
 - ・スマートフォンの使い方に関して親子での対話の契機となるような内容のリーフレットを作成・配付
- 2 学校における推進検討部会（学校部会）
 - ・児童生徒の主体的な取組による啓発活動の検討と実施
 - ・「気付き」を大切にした授業実践、短時間で扱える指導実践例の開発と実践

第2回情報モラル教育推進会議（11月1日実施）では、本事業の進捗状況を確認するとともに、家庭部会が作成した、家庭向けリーフレットの内容と活用について、また、学校部会が進めている児童生徒の主体的な取組による啓発活動等について意見交換を行い、今後の取組を確認しました。

【家庭部会の取組について】

（事務局報告）

- ◇作成したリーフレットは、スマートフォンの使い方について、家庭での対話が図られるよう、対話のチャンス为例示し、子どもに寄り添った対話の仕方を示す構成とした。
 - ◇対話に役立つ情報として、携帯電話、スマートフォンの所持率や使い方の約束について資料を掲載した。
 - ◇PTAフェスティバル（11月12日開催）の来場者と小・中学校（全児童生徒）に配付する。
- （各委員からの提言）
- ◆効果的な配付の仕方（時期やタイミング）や有効活用を促すための工夫をしたい。
 - ◆学校とPTAが協力し、繰り返し保護者に示していくことも効果的である。

【学校部会の取組について】

（事務局報告）

- ◇児童生徒の主体的な取組による啓発活動は「児童会・生徒会や委員会が中心となり行うもの」「小中連携により児童生徒同士が活動するもの」「保護者や地域に発信していくもの」の三つに整理し、実施計画案を作成した。
 - ◇授業研究は、「気付きを促し、考えさせる授業づくり」をテーマに、小学校と中学校でそれぞれ1事例ずつ授業を実施するとともに、短時間で扱える指導内容は今後さらに検討していく。
- （各委員からの提言）
- ◆啓発活動は、児童生徒自身の気付きにつながる効果が期待できる。その際、活動の持続性と児童生徒の主体性を生かすことを大切にしたい。
 - ◆友達同士で話し合ったり意見を出し合ったりして、考えや思いを共有することが大切である。

★今回の推進会議での提言を受けた今後の予定

家庭部会

○家庭向けリーフレットの配付と活用

冬休み前の保護者会やPTA行事などでも活用できるように、12月初旬までに各小中学校へ配付します。学校や家庭での活用を促す文書も添付します。

学校部会

○児童生徒の主体的な取組による啓発活動、短時間で扱える指導内容の実施

11月以降、部会に所属する委員の学校で実施し、実践例として取りまとめ、仙台版情報モラル実践ガイドに掲載します。